

中学入試レベル攻略問題

出来事の説明や図表に注意すると、資料の内容が正確に読み取れる

入試では、資料を読んで、きみ自身の考えを書く問題が出ることもあるよ。自分の考えを書くには、まず、資料を正確に読み取ることが大切だね。次の問題で、きみの資料の読み取りの力を試してみよう。



太郎君は、「世界遺産」についての調べ学習の中で、次の資料を見つけました。資料を読んで、後の問いに答えよう。

【資料】

1 世界遺産条約の成立

一九六〇年代、エジプトのナイル川流域で、アスワン・ハイ・ダムの建設が始まった。しかし、ダムが完成すると、古代エジプト文明の神殿などをふくむヌビア遺跡が水中に沈んでしまうことが明らかになった。そのため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、世界中にヌビア遺跡の救済を呼びかけた。その結果、神殿の移築などが行われ、遺跡は無事に保存されることになった。

一九七二年、ユネスコは、このヌビア遺跡の出来事を受けて、文化遺産や自然遺産を保護・保存するために国際的に協力することを定めた、「世界遺産条約」（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）を成立させた。

2

世界遺産条約は、地球上のすべての文化財や自然環境を、保護・保

I

存するわけではない。「世界遺産」として登録されたものだけを、保護・保存する条約である。それに登録されるためには、「文化遺産」（優れた建造物や遺跡など）、「自然遺産」（貴重な地形や景観、絶滅のおそれのある動植物の生息地など）、「複合遺産」（文化遺産と自然遺産の両方の価値があるもの）の三つの分類のいずれかに当てはまり、それぞれ一定の基準を満たしていなければならない。

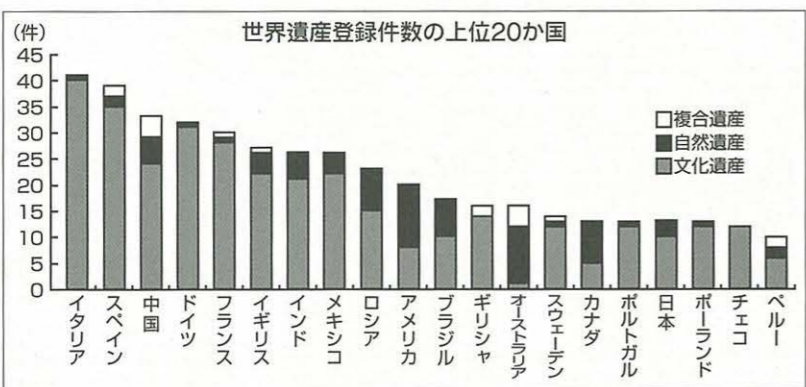
【グラフ】

3 世界遺産の登録件数

世界遺産条約には、二〇〇六年七月現在、百八十二か国が加盟しており、世界遺産の登録件数は、文化遺産が六百四十四件、自然遺産が百六十二件、複合遺産が二十四件で、合計八百三十件に上る。下の「グラフ」は、登録件数の上位二十か国の内訳である。

登録件数の合計が最も多い国は、①である。そのほか、上位は、スペイン、ドイツ、フランス、イギリスなどのヨーロッパの国々が多い。文化遺産でも、ローマ帝国の中心地であった②が最も多い。

また、自然遺産は、③とオーストラリアが目立って多い。両国の特徴としては、他の多くの国とちがひ、A⁺ B⁺ 遺産のほうが多いことが挙げられる。③にも、この特徴が表れている。



(ユネスコより 2006年7月現在)

4

「グラフ」で挙げられている国々の属する地域に注目すると、ヨーロッパの国々が多いのに対して、アフリカが一国もないことがわかる。全八百三十件のうちには、アフリカ諸国からの登録が七十件あるが、大陸の大きさや他地域とのバランスを考えると少ないといえる。この理由として、アフリカ諸国が直面している紛争や貧困などの問題が考えられる。貴重な文化財、自然環境を持ちながら、それらの問題が、世界遺産登録を難しくしているようである。このような世界遺産登録地のかたよりを、どのように解消していくかが、今後の課題の一つといえる。

進研ゼミ 書き下ろし

1

文章中の I・II には、どんな小見出しを入れるとよいだろう。それぞれ次から選んで、記号を書こう。

- A 文化財・自然環境の価値
- イ 世界遺産条約で保護・保存されるもの
- ウ アフリカの社会問題
- エ 世界遺産条約の今後の課題

I () II ()

2

世界遺産条約の成立のきっかけとなった出来事を、次の「」に文章中の言葉を使って書こう。

●一九六〇年代

- ・ エジプトで起こった出来事
- ・ ユネスコの対応

①

②

3

文章中の ① ③ に入る国名、A・B に入る言葉を「グラフ」から読み取って書こう。

① () ② ()

A () B ()

③ ()

4

④のまとめでは、「グラフ」からわかるどんなことに着目しているだろう。次の言葉に続けて書こう。

世界遺産の登録件数の上位二十か国には、